

# 分析結果報告書〔3〕 1 / 2

## 1.3 廃棄物試料(砒素)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1. ISO 9001-9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガ1ド25) 4. M L A P 5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	( )年
分析主担当者の実績(年間の分析試料数)	( )

回数	分析結果(mg/kg) 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 3回の分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1. ジェルジチカルミド 酸銀吸光光度法 2. 水素化物発生原子吸光法 3. 水素化物発生ICP発光分光分析法 4. その他( )
------	--

### < 試験溶液の調製 >

試料量	( ) g
試験溶液の調製に用いた酸の量	硝酸 ( )ml 硫酸 ( )ml 過塩素酸 ( )ml
試験溶液の量(定容量)	( )ml

### < ジェルジチカルミド 酸銀吸光光度法 >

試験溶液の分取量	( )ml
測定波長	( )nm

## 分析結果報告書〔3〕 2 / 2

< 水素化物発生原子吸光法及び水素化物発生ICP発光分光分析法 >

試験溶液の分取量	( )ml
予備還元等に用いた試薬 (酸を除く)	よう化カリウム 塩化すず(II) 鉄( ) 臭化カリウム その他の試薬 1. 使用する 2. 使用しない 1. 使用する 2. 使用しない 1. 使用する 2. 使用しない 1. 使用する 2. 使用しない ( )
予備還元後の溶液	塩酸濃度 ( )mol/l 硫酸濃度 ( )mol/l
還元剤	1. 亜鉛粉末 2. テトラヒドロホウ酸ナトリウム(水素化ほう素ナトリウム) 3. その他( )
導入方法	1. 連続式 2. 貯圧式 3. その他( )
原子吸光分析装置	ハックラウド補正 測定波長 1. 行わない 2. 重水素ランプ 3. 偏光ビーム 4. その他( ) ( )nm
ICP発光分光分析装置	装置の型式 ハックラウド補正 超音波ネブライザの使用 測定時間 測定波長 1. 波長走査(シーケンシャル) 2. 波長固定(マルチ) 3. その他( ) 1. 行う 2. 行わない 1. 使用しない 2. 使用する ( )秒 ( )nm

< 検量線の作成等 >

定量方法	方法 内標準法：内標準物質の種類 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 1. イットリウム 2. インジウム 3. タリウム 4. ビスマス 5. その他( )
検量線	作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値 ( ) 最小( ) ~ 最大( ) 注4) ( )
試料の指示値	( )
空試験の指示値	( )

注4) 吸光度法では水素化物発生瓶への添加量(μg)、原子吸光法及びICP発光分光分析法では分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/l)を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--